

HATSUTA

ECO & CSR 報告書 2022



TRY for
Innovation

1. トップ メッセージ



株式会社初田製作所
代表取締役社長
初田 和弘

古きよき日本を堪能できる京都は、日本文化の歴史が刻まれた国宝級の文化財や建造物の宝庫ですが、もしそれらが炎の中へ消え去ることになれば、それは国家としての大いなる損失と言わざるを得ません。

国宝級の文化財や建造物を創造することは難業ですが、それを維持し守り抜くことも、また至難の技です。京都に在住した二重瓶消火器の考案者が、国宝級の文化財や建造物にとどまらず、そこに住まわれる人々の生命と財産をも、火災の脅威から守ろうとしたのがHATSUTAの原点です。

当社は、明治35年（1902年）の創業以来、常に時代の変化に適応した事業活動を行って参りました。

これからも、当社が社会やお客様から信頼を得られる企業であり続けるために、国際的な課題である「持続可能な社会の実現」を見据えて、循環型社会や低炭素社会などに適応した、未来志向の企業として永続的な成長を目指します。

また、「安全と品質の確保、環境への配慮、法令遵守、企業倫理の浸透」を基盤とした、様々な活動の継続とステップアップに努めることで、企業としての社会的責任を果たして参ります。

ハツタの原点とロゴマーク



ハツタの社章
(ダブルリングマーク)



二重瓶消火器

ハツタの社章として使用しているダブルリングマークの由来は、ハツタの原点である「二重瓶消火器」にあります。

ハツタは1902年の創業当時、高木文平氏により発明された「二重瓶消火器」を生産販売していました。この消火器の瓶の底は二重になっており、それを図案化して出来たものがダブルリングであると言われております。

このマークは創業当時から使用され、1907年に商標登録されました。

目次

1	トップメッセージ	1
2	会社紹介	4
	会社概要	5
	企業理念	6
	ハツタの取り組み	7
	組織体制	8
	事業内容	9
	製品情報	10
	サービス	11
	関連会社と販売代理店	12
3	特集	13
	火災リスク回避への取り組み	14
	住宅用消火器の普及への取り組み	15
4	CSR活動報告	16
	職場環境の改善	17
	人材の育成	18
	地域・社会への貢献活動	19
5	ECO活動報告	20
	エコサイクルシステムによる資源の有効利用	21
	低炭素社会実現への取り組み	22
	エネルギー使用量や廃棄物排出量等の監視	23

編集方針

編集方針

「ECO&CSR報告書2022」は、初田製作所における「環境負荷の状況と環境負荷の軽減に対する当社の取り組み(ECO)」や、「様々な社会貢献活動を通じた企業の社会的責任(CSR)」について報告することを目的に編集しております。

対象

対象期間： 2020年12月1日～2021年11月30日※
※一部の内容には、2022年4月現在の情報が含まれています。
対象範囲： 日本・中国・台湾・タイ・ベトナム
対象組織： 初田製作所及び関連会社

発行年月

発行年月： 2022年5月
前回発行： 2021年5月

参考にしたガイドライン

環境省環境報告ガイドライン（2018年版）

表紙の写真



：ラッコ

イタチ科ラッコ属の哺乳類で北太平洋沿岸が主な生息地。2021年11月現在、国内で飼育されているラッコはわずか4頭のみ。

ラッコは毛皮を目的とした乱獲や、米アラスカ沖で89年に起きたタンカーの原油流出事故の影響で生息数が激減した。米国では国内法で野生のラッコの捕獲や輸出は原則禁止され、2000年には国際自然保護連合（IUCN）が絶滅危惧種に指定。日本には03年にロシアから輸入されたのを最後に途絶えている。

2.

会社紹介

120th
ANNIVERSARY
HATSUTA 1902-2022



二重瓶消火器

泡沫消火器

水槽付手押ポンプ消火器

四塩化炭素消火器

CB消火器

大型車付泡沫消火器

シームレックス泡沫消火器

シームレックス粉末消火器

カセット式粉末消火器

ステンレス消火器

ECOSS消火器

透明樹脂製消火器

会社概要



社名	株式会社初田製作所
代表者名	代表取締役社長 初田和弘
所在地	〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-5
創立	明治35年(1902年)12月1日
会社設立	昭和22年(1947年)8月19日
資本金	8千万円
従業員数	470名(2021年12月1日現在)
営業品目	各種消火器、消防設備、自動消火システム、防災商品の製造・販売、 施工、メンテナンス、損害保険代理店業

ISOマネジメントシステム認証取得状況

認証取得	認 証 取 得 事 業 所	
年月日	ISO9001	ISO14001
1999/8/20	本社・本社工場	
2002/12/13		本社・本社工場
2004/8/6	東京支社・関西支社	
2007/9/21	北海道支店・東北支店・中部支社・北越支店・ 中国支店・四国支店・九州支店	東北支店・中部支社・中国支店・九州支店・ ハツタテクノ
2008/7/11	初田(寧波)消防器材有限公司	
2011/6/13		北海道支店・北越支店・四国支店
2014/5/16	ハツタテクノ	
2014/6/25	初田(上海)国際貿易有限公司	
2017/6/26	初田(上海)国際貿易有限公司、初田(上海)国際貿易有限公司 ISO 9001 : 2015年版 / 初田(上海)国際貿易有限公司、初田(上海)国際貿易有限公司 ISO 14001 : 2015年版 認証取得	
2017/9/29	国内全部門 ISO 9001 : 2015年版 / ISO 14001 : 2015年版 認証取得	

企業理念

初田製作所では、下記に示す「社是」を基本ポリシーとして、企業活動に取り組んでいます。
今後もこの志を原動力に、初田製作所は成長を続けていきます。

社是

誠実と努力と根気を信条とし、
堅実なる経営を通じて、優秀なる製品を市場に送り、
社会公衆の利益向上に寄与する。

企業スローガン

ミライを守る

製作所 Spread Innovation,
Spread Safety.

「人命・文化・財産」をあらゆる人が守り続けられるように。私たちが100年以上の歴史の中で培ってきた大切な理念です。

社会環境の変化を捉え、災害を最小限に抑えるサステナブル社会を実現してきました。

ビジネス/パーソナルを問わず、初期消火に必要な製品やソリューションはもちろん、その知識や経験で世界に貢献していくことも大事な使命です。

未来思考の総合防災コンサルティング企業。それが初田製作所です。

環境・品質理念

ハツタは、絶えずお客様の立場で考え活動します。

かけがえのない生命と大切な財産を守り、青い地球の環境保全のため、
安心と品質の創出と自然との調和を目指します。

環境方針

製品のライフサイクルを通して、環境負荷の低減を考え、より良い地球環境の継続保全、又は社会環境に貢献します。

品質方針

顧客にとって、優秀にして価値ある製品サービスを創造し提供します。

環境・品質基本方針

1. 製品の設計、製造、使用、廃棄に至るまでの全てのライフサイクルにおいて、顧客・環境に配慮し、効率の良い製品造りを目指します。
2. 環境汚染の予防を推進するとともに企業活動全般の変化を評価し、関係部署で環境目標目的・品質目標目的を定め、実行し、定期的に見直しを実施します。
3. 環境及び品質マネジメントシステムに対する定期的な監査を行い、よりよい成果が得られるように継続的な改善活動を展開します。
4. 全ての活動に適用される法規制と周辺地域と環境保全に関する協定、その他の要求事項を遵守します。
5. 当環境・品質方針を従業員等に周知すると共に一般に公開し、又周辺地域との調和を図ります。



EUQ-MARK's Policy

初田製作所は「思いやり」をキーワードに、「エコロジー」「ユニバーサルデザイン」「クオリティ」をブランド創造の核としてきました。私たちはこの3つのテーマを具現化した「EUQマーク」を2007年に制定いたしました。

3つのテーマの頭文字、E・U・Qを形状として一番安定感があり、美しいとされる黄金比率に基づいた楕円の形に組み合わせ、「グリーン（大地）」「ピンク（やさしさ）」「ブルー（安心感）」、の3色で表現しています。

美しい地球を守るべく、安全・安心で高品質な製品・サービスの提供を行い、ユーザーから選ばれるHATSUTAブランドを目指してまいります。

Ecology

環境にやさしい製品開発を



Universal Design

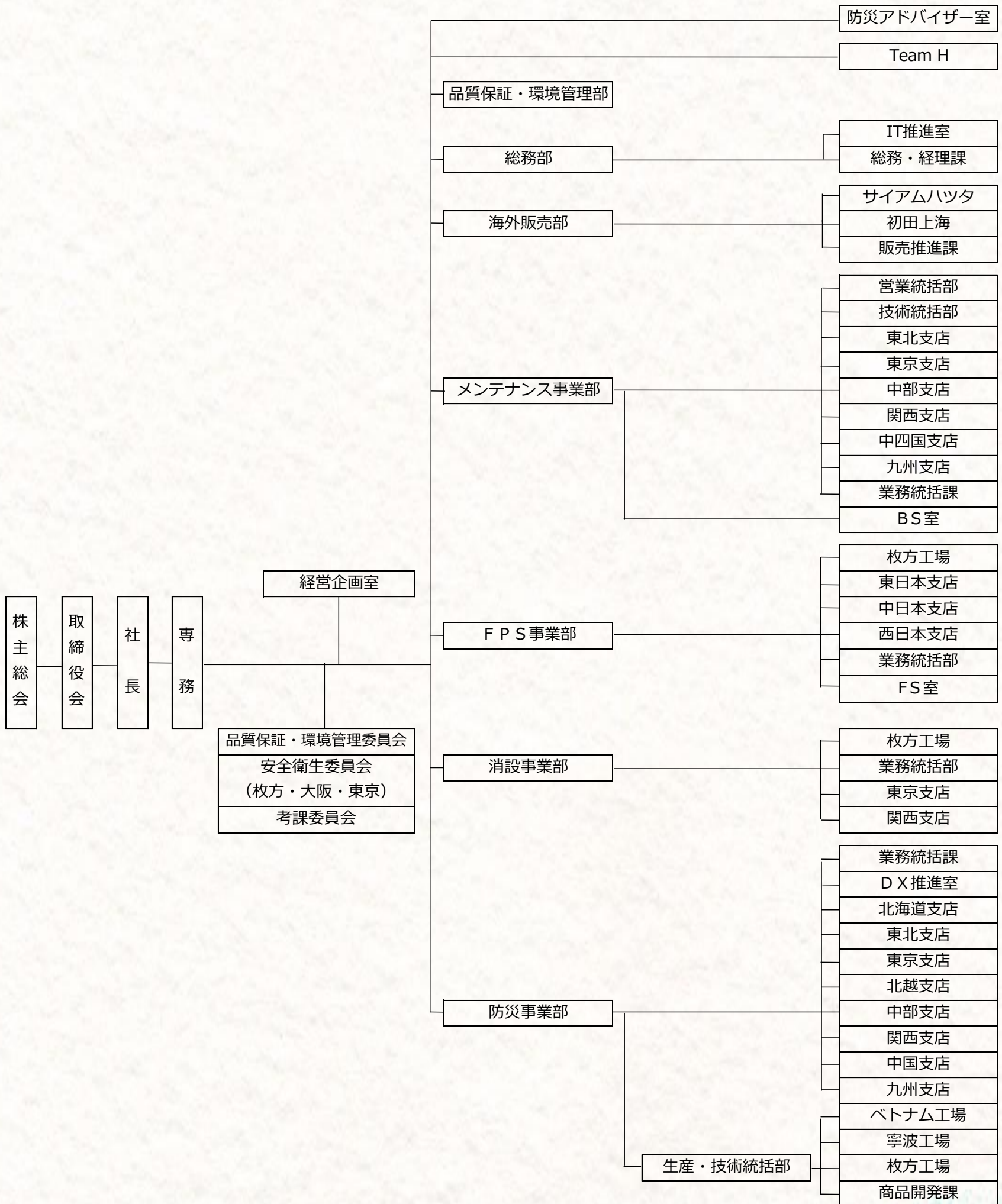
子供にも、ご年配の方にも、扱いやすい消火器の開発を

Quality

より安全で、より安心な品質を



組織体制



事業内容

初田製作所は、かけがえのない人命、財産、文化を火災や災害から守り、環境にやさしい防災システムを社会に提供するトータルソリューションサービスを行って参ります。

防災事業

- ・ 「二重瓶消火器」に始まり、ユニバーサルデザインで開発された消火器、簡易パッケージ型消火システム等の消火機器に加え、多種多様の防災機器の開発から顧客サイドの様々なケースやニーズに適切に対応する事業を展開しています。
- ・ HTCサービスによる火災発生リスク診断を無料で行い、顧客のBCPを積極的にサポートして参ります。



消設事業



- ・ 消防設備の機器製造から設計施工保守までに対応する事業を展開しています。
- ・ 消防法に則った最適な消防設備の提供に加え、コンパクトな介護施設向けパッケージ型自動消防設備をラインナップし、高齢者の皆様に安全で安心な生活環境を提案して参ります。

FPS (Fire Prevention System) 事業

- ・ 工場に於ける安全性と生産性の向上に寄与し、企業のBCPの更なる充実に貢献するべく、各種生産設備機器の火災リスクを抑制し、火災による損失を低減させる事業を展開しています。
- ・ 様々な生産設備機器毎に最適な消火システムの設計～施工及び、万全な作動が行える様、アフターメンテナンスを提供して参ります。



メンテナンス事業

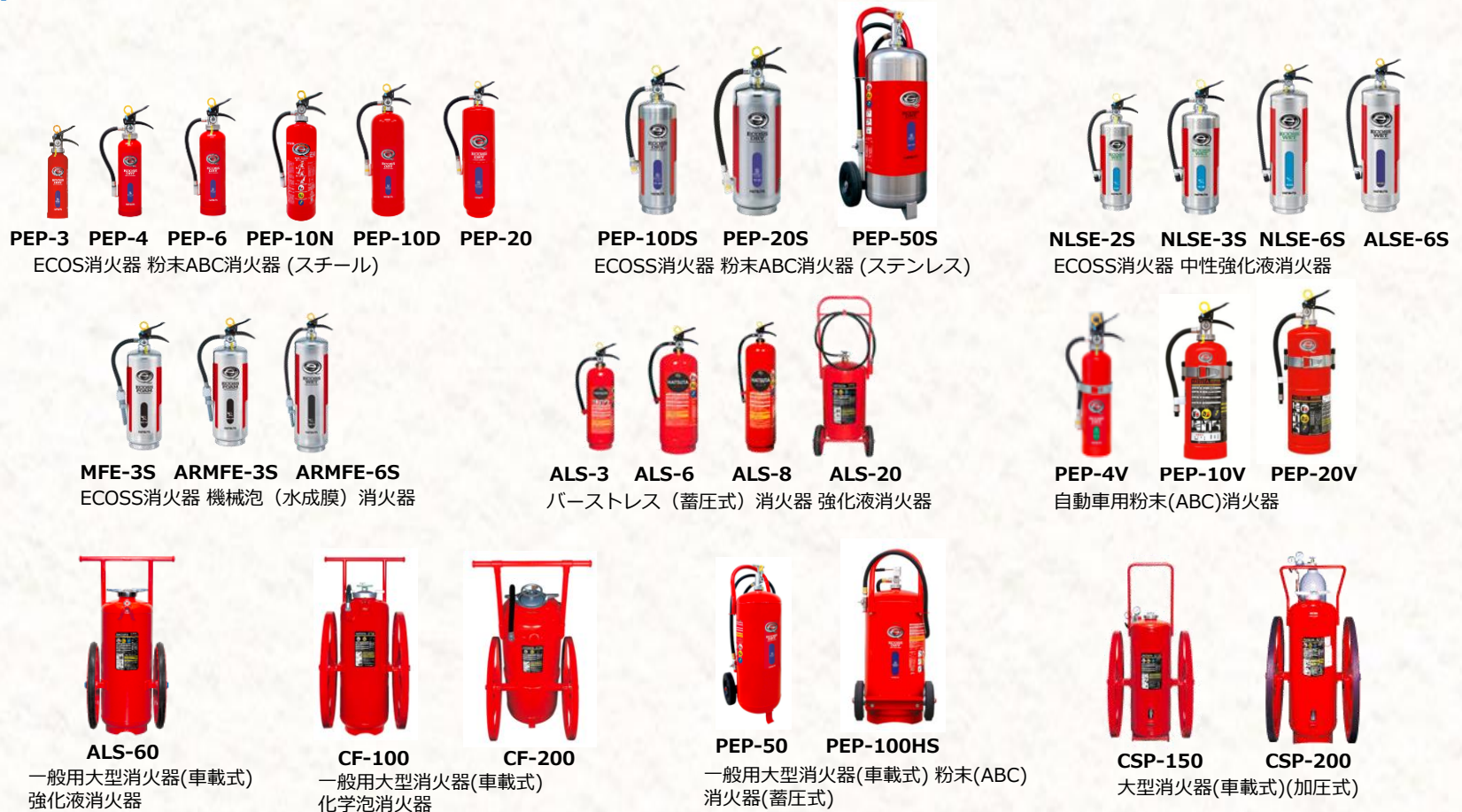


- ・ 現状お使いになっておられる各種消防用設備や機器に対する専門知識を有するプロが行う的確なメンテナンス事業を展開しています。
- ・ 消防法の点検基準に則った点検を行い、設備機器の状態を常時スタンバイOK状態とし、万一の際の顧客の安全を提供して参ります。

製品情報

消火器をはじめ、消火設備、製造装置用自動消火システム等の、環境にやさしい防災システムを社会にご提供します。

消火器



家庭用消火器



パッケージ型消火設備・パッケージ型自動消火設備



製造装置用自動消火システム



サービス

ハツタは防火・防災のプロとして、ユーザーの不安や悩みを解消する様々なコンサルティングサービスを提供いたします。

Feature!

火災発生リスク簡易無料診断サービス (HTCサービス)

我が国で唯一の「火災発生リスク簡易無料診断サービス」では、診断を通じてお客さま個別の火災発生リスクを発見し、その後の安全対策強化のお手伝いをさせていただきます。詳細は、p.14にてご紹介いたします。

New!

損害保険のご案内 (損害保険代理店業)

当社が長年培った消防防災機器メーカーとしての知見やノウハウを活かし、個々のお客様に応じたリスクマネジメント強化のご提案まで、ワンストップサービスでさせていただきます。

取扱品目：火災保険、自動車保険、賠償責任保険、傷害保険 他



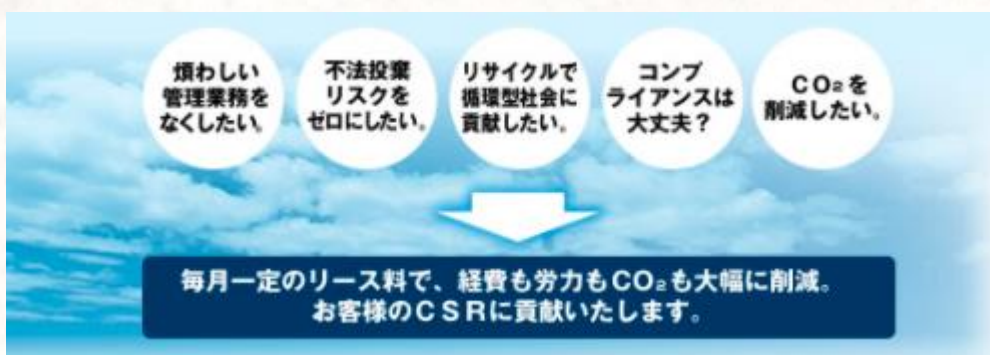
消防・消火設備のメンテナンス



消防法をはじめとする各種安全法令の遵守に徹し、消防設備に関する点検やリニューアル、建築設備点検などの各種サービスを提供いたします。

NEW ECOSS・ゼロエミサービス

「NEW ECOSS・ゼロエミサービス」では、生産者責任の観点から「廃棄消火器の処理に関するコンプライアンス」に焦点を絞ったサービスを提供しております。

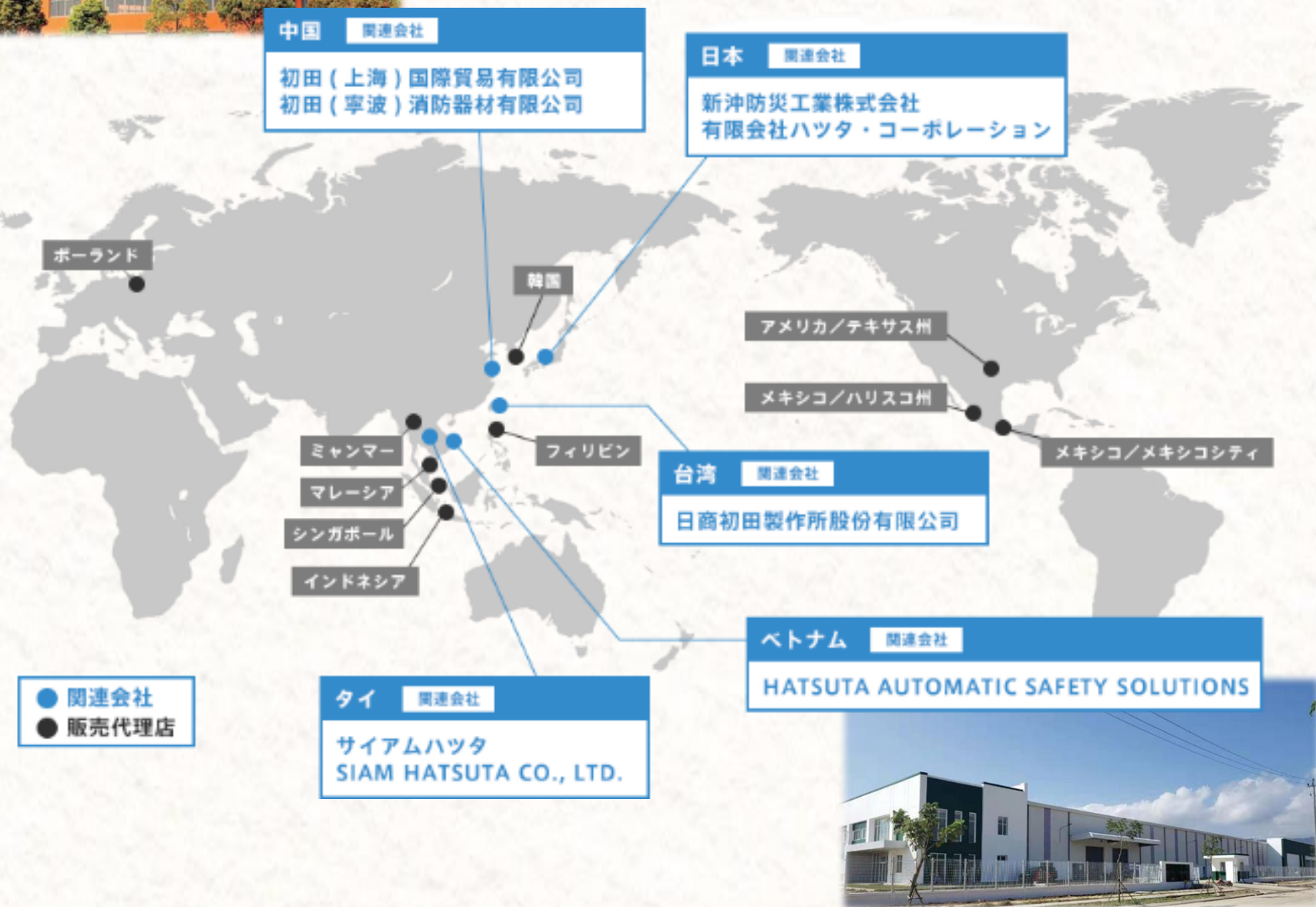


体験型防災スキルセミナー (SPSクラブ (Hatsuta Super Pro Shop Club))

消火設備に係るスキルアップの場として、体験型総合研修センター「実消館」を使った、SPSクラブマイスター研修を開催しております。



関連会社と販売代理店



初田寧波

初田(寧波)消防器材有限公司
社名 HATSUTA NINGBO FIRE-FIGHTING EQUIPMENT CO., LTD.

取扱品目 消火システム、警報システム、消火器及び関連部材、防災関連機器の製造、ハツタベトナムの生産支援

初田上海

初田(上海)国際貿易有限公司
社名 HATSUTA SHANGHAI INTERNATIONAL TRADING CO., LTD.

取扱品目 半導体製造メーカー、液晶製造メーカーに対するキャビネックスの販売、アルゴナイト消火設備等の環境関連商品の販売、消火器の販売及び海外輸出、設計、施工、メンテナンス&アフターサービスの実施、中国製品の市場調査及び輸出業務、海外生産の支援業務、技術コンサルティング

ハツタベトナム

社名 HATSUTA AUTOMATIC SAFETY SOLUTIONS CO., LTD.

取扱品目 50型消火器、移動式粉末消火設備、消火器用部品の組立、消火薬剤の製造

サイアムハツタ

社名 SIAM HATSUTA CO., LTD.

取扱品目 消火器、スプリンクラー設備、泡消火設備、粉末消火設備、ガス消火設備販売・メンテナンス、アルゴナイト消火設備販売・メンテナンス、自動火災報知設備、避難設備、防災商品販売、メンテナンス、設計、施工、メンテナンスの実施、輸入・輸出版売、技術コンサルタント、危険箇所診断

3.

特集



火災リスク回避への取り組み

当社は創業120年に渡り、消防用設備・消防用機器の販売およびそれらのメンテナンスを提供してまいりました。更に、お客様の火災による被害を限りなくゼロにし、BCP（事業継続計画）構築のための支援活動として、2014年より火災発生リスク簡易無料診断サービス（HTCサービス）に取り組んでいます。

これまで1200件以上の診断実績とリスク回避の提案実績を持つ、火災発生リスクの発見や、過去の火災事例に基づく最適な安全対策立案の取り組みについて、最新の動向をご紹介します。

最新の消防統計と近年の火災トピックス

総務省消防庁発行の令和2年度消防統計（火災統計）結果によると、火災発生総件数34,961件のうち最も多いのは、建物火災となっています。建物火災総件数のうち10.7%は、工場ならびに倉庫火災で（計2,081件）、1日に約6件弱も発生していることとなります。同じく、建物火災の中に、神社・寺院等の火災もあります。火災発生件数は工場・倉庫火災に比べて少ないですが、3年前に発生した重要文化財の消失は、世間に大きな衝撃を与えました。



2020.10
某半導体製造会社の火災
【抜粋元】日本経済新聞



2019.10
某文化財の火災
【抜粋元】毎日新聞

火災発生リスク簡易無料診断サービス（HTCサービス）による火災発生リスクへの気づき

全国の工場や建物で定期的に行われる「消防設備点検」は、消防設備が正常に動作するかを確認しま



火災発生リスク簡易無料診断サービス（HTCサービス）	消防点検
火災発生リスクをいかに無くすかの診断 発生した火災による被害をいかに最小限に留めるかの提案 【消防法に捉われない】	既設消防用設備の動作確認 【消防法】

New!



HTCサービス紹介動画ができました！

す。しかし、実際の火災事例を見ると、重大な法令違反がない、消防設備点検をきちんと行っているにもかかわらず大規模な火災となった例は少なくありません。また、小さな要因の積み重ねによる出火・延焼や固有リスクの潜在が大きな火災被害に繋がることも分かっています。

HTCサービスでは「プロの診断員による巡回チェック」で、企業ごとに異なる固有のリスクを発見し「見える化した診断レポート」を提供します。様々な視点からリスクを洗い出すことでお客様のBCPをバックアップいたします。

社会の火災予防意識を高めるために ～HTCサービスの拡充にむけて～

2019年に立て続けに発生した文化財の火災を受け、HTCサービスでは、2021年より新たに、寺社仏閣・文化財を診断対象として追加いたしました。

また、半導体工場の火災をはじめ、最近発生した物流倉庫火災や製菓工場の火災を受け、工場・倉庫・物流関係のお客様からのお問い合わせが増加しています。

HTCサービスをご提供することで、お客様の様々なお悩み（「工場内の危ない箇所が素人には判断できない」、「同業の火災事例をふまえて対策を立案したいが、どこから手を付けたらいいのかわからない」等）も、解決させていただくとともに、お客様社内の

New!

リスク情報の共有化による防災意識のレベルアップと、リスクに対する安全対策実施でCSR（社会的責任）の更なる充実に貢献いたします。



Bosai-Navit

多様化する火災リスクに最適提案を

2020年より、最適火災対策を提供するナビゲーションサイトの運営をはじめ、HTCサービスの更なる拡充を図っています。

New!

文化財は国の宝です
火災発生リスクの把握と対策は充分ですか？

年間に発生する文化財の火災件数をご存知ですか？

平成30年度火災統計(消防庁)
神社・寺院等 **67**件

約5日に1度火災が発生!

寺社仏閣 文化財向け
火災発生リスク簡易無料診断サービス

火災から京都の文化財を守る
～ハツタの創業の心～

Hatsuta Triplic Consulting
HATSUTA

住宅用消火器の普及への取り組み

デザイン消火器 CREATORS' MODEL デビュー

“お部屋にアートを飾るように、インテリアを選ぶような気持ちで。ちょっと楽しく防災に備えてみませんか？”

消火器は「赤色」でなければならないと思われていませんか？

住宅用消火器に関しては、色が自由に決められる製品ということが一般的にはほとんど知られていません。

そこで、「デザイン消火器 CREATORS' MODEL」は、“お部屋にアートを飾るように、インテリアを選ぶような気持ちで。ちょっと楽しく備えてほしい”という思いから新たに商品ラインナップに追加いたしました。

初回は3名のクリエイター様にご協力いただき、個性的な消火器10種類をネット通販にて販売しています。また、弊社が実施したアンケート※では「自分で購入する機会はなかったが、プレゼントされたら嬉しい」というお声を頂き、ギフト需要へ対応。パッケージを見直し、お客様が購入しやすいようネット通販で販売いたします。

※2020年7月「Happy-Note2020年秋号読者様 住宅用消火器に関するアンケート」より



住宅用消火器の設置に関する課題

消火器の使用期限は、一般的な消火器（業務用）で10年、住宅専用の消火器で5年です。日本消火器工業会と消火器リサイクルセンター調べ※によると、一般家庭の消火器設置率は43.3%です。しかし、このうち10年以上経過し、使用期限が切れている消火器は全体の21.8%。このことから、安全に使用できる消火器を設置している一般家庭は21.5%程度になります。

また、消火器を廃棄しない理由は、「どのように廃棄すればよいかわからない」との回答が55.3%と半数を占めています。

※2020年9月「一般家庭の消火器保有・廃棄に関する実態調査」より

楽しみながら防災に備える！きっかけづくり

今後、商業施設での展示イベントなどお客様にお伝えする機会を増やしていく予定です。小さいお子さんをお持ちの方や新居を構えた方は防災への関心が高くても、実際そのような商品に触れる機会は多くありません。身近な場所で消火器の扱い方や廃棄方法などお伝えすることが重要だと考えています。

4.

CSR

活動報告



職場環境の改善

働き方を見直して労働生産性を向上することは、使用するエネルギーの削減等により環境負荷を減らすことに繋がります。このような観点から、「eco活動の一環」として、働き方改革に取り組んでおります。

働き方改革

テレワーク

ワークライフバランスの実現や、コロナウィルスの感染を抑制するため、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方であるテレワークを推進しております。

FAXの電子化

テレワークやオフィスのフリーアドレス化を推進するため、FAXの電子化に取り組んでいます。また、FAXの電子化によりペーパーレスにも繋がると見込んでいます。



労働安全衛生

「安全で健康的な働きやすい職場」を目指して

本社工場、東京本社と関西支店に、安全衛生委員会を組織し、毎月、安全衛生委員会を開催しております。他の支店においても安全衛生推進者を任命し、定期的に労働安全と労働衛生に関する課題の審議を行い、安全で健康な働きやすい職場の実現に向けて活動しております。

産業医・保健師による面談

産業医による健康相談を開設し、長時間労働該当者の健康面談だけでなく、希望者も健康面談が受けられる環境を整えております。

労働安全衛生コンサルタントによる講演

全国安全週間や全国労働衛生週間には、労働安全衛生コンサルタントを迎え、労働災害の防止やメンタルヘルスについて講演いただき、自己管理も含めた職場環境の改善に努めております。

ストレスチェック

従業員のメンタルヘルス対策としてストレスチェックを行うとともに、ストレスチェックの結果を分析することにより「仕事によるストレス」の緩和・減少に努めております。

内部通報制度

コンプライアンス違反や迷惑行為のない職場づくりの一環として、内部通報制度運用規程を制定し、従業員が総務部門へ直接報告できる環境を整えております。

資格取得の奨励

法定資格や社内資格の取得を奨励することにより、従業員の能力向上に取り組んでおります。

「火災リスク簡易診断 認定診断員」は研修及び実地での診断実習を併せた認定制度となっております。また、消防設備士をはじめ、取得を奨励している法定資格については、社内勉強会の開催や学習資料の配布などを実施しております。

人材の育成

社外の方々に向けて、「防災スペシャリストの育成」を目的とした研修会を開催しております。

セールスカレッジ

新しく防災業界に就労された初心者向けの基礎学習プログラムです。年1回～2回開催し、毎回、全国から多くの方に受講いただいております。



SPSクラブマイスター研修

体験型消火設備機器総合研修センター「実消館」に於いて、消火設備に関する技術習得を目的とした「体験型スキルアッププログラム『マイスター研修』」を開催しております。

- 甲1コース（水）： スプリンクラー設備、屋内・屋外消火栓設備
- 甲2コース（泡）： たんぱく泡消火設備、水成膜泡消火設備
- 甲3コース（粉末）： 粉末消火設備
- 甲3コース（ガス）： IG541消火設備、二酸化炭素消火設備、
- 甲4コース（その他）： 防雷神(内部雷保護システム)、厨房用自動消火装置、自動火災報知設備等
- 初級 Jコース： 消火器・消火設備の基礎
- キャビネックスコース：キャビネックスEN・KZ
- 簡易火災リスク診断員育成コース



- 屋内消火栓操作体験 -



- 消火薬剤充填体験 -

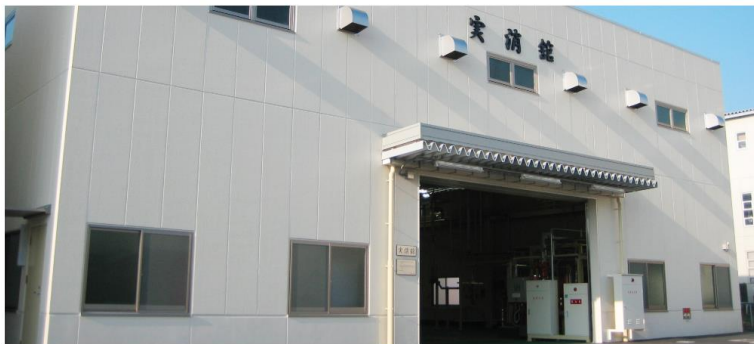
地域・社会への貢献活動

全ての消火設備の見学ができ、操作・薬剤の放出・点検などの作業実務を経験いただく場として「実消館」を設立しております。取扱商品やサービスを展示した「ビックスギャラリー」と合わせて、100年を超える歴史の中で培われた防災に対する意識、設備をご覧ください。

体験型施設の整備

ビックス ギャラリー Bix Gallery

当社が扱う様々な製品やサービスをご覧ください。
訪れた皆様に「たくさんのビックリ」を発見していただきたいという思いが込められた展示室です。



じっしょうかん 実消館

各種消火設備の実物を設置しておりますので、消火設備をご覧くださいだけでなく、消火器の放出や設備操作、設備点検等が実際に体験いただけます。

『実』 実際体験を柱とした研修を行うことを目的に設立

『消』 消防防災業界の成長と発展を目指し、引いては国家と国民の安全向上に寄与することを目的として設立

『館』 建物の意

敷地外清掃

定期的に、本社工場周辺の敷地外清掃を実施しております。従業員の美化意識の向上と地域や周辺の環境美化活動を推進しております。



5.

ECO

活動報告

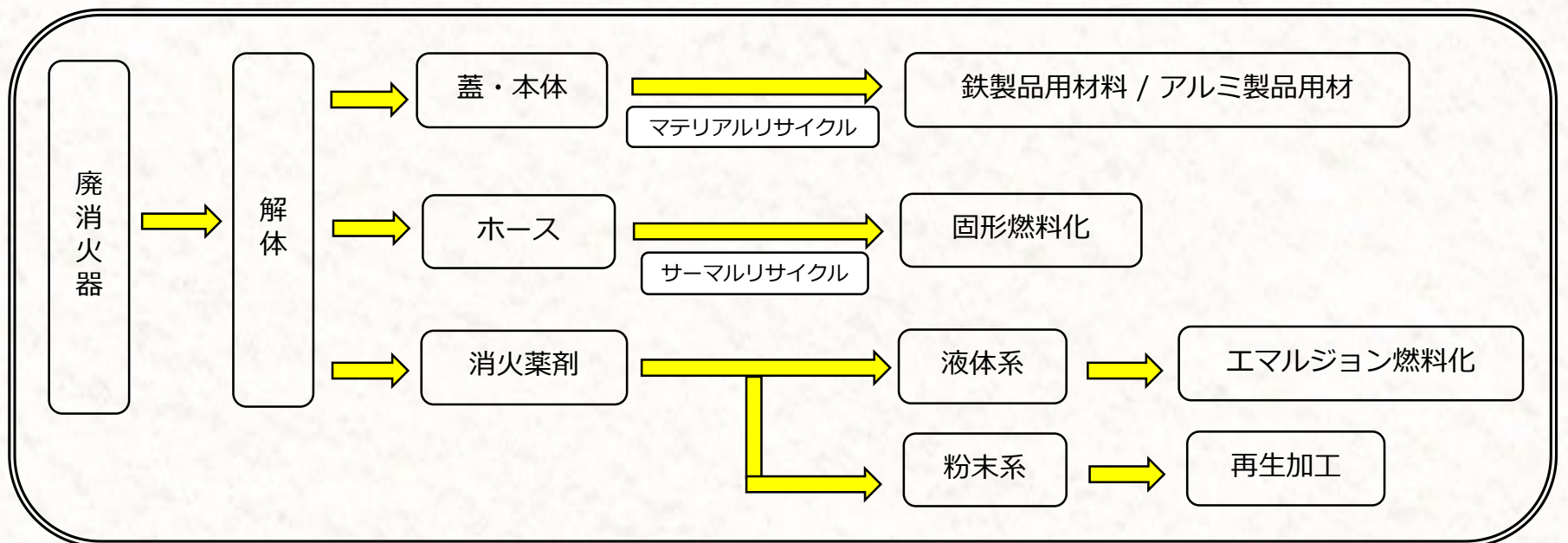


エコサイクルシステムによる資源の有効利用

限りある資源の有効利用や地球環境の汚染防止に貢献するため、エコサイクルシステムにより市場から回収した粉末消火薬剤をリサイクルしております。

ハツタの「エコサイクルシステム」

回収した消火器を分解処理することにより、ほとんどの部品を再利用や再資源化しております。
回収した粉末消火薬剤に再生加工を施し、再生薬剤として新たに生産する粉末消火薬剤に混合しております。
回収量によって変動しますが、新しい消火器には**60%~80%**の再生薬剤を混合しております。



※マテリアルリサイクル：製品を原料として再生利用（リサイクル）します。

※サーマルリサイクル：焼却の際に発生する熱を、エネルギーとして回収し利用します。

※エマルジョン燃料化：燃料と液体消火薬剤を混ぜ合わせるにより燃焼温度を下げた燃料を作ります。

回収した粉末消火薬剤のリサイクル

消火器からとりだされた消火薬剤は異物・変質物を除去し、ハツタ独自の撥水処理を行って均質化し、原料化します。そして蛍光X線分析装置による厳しい検査に合格し、現行製品と同等の性能・品質を有するものだけが消火薬剤としてリサイクルされます。

『撥水処理装置』による「粉末再生加工」

粉末消火薬剤はシリコン等の材料と混合し、約1時間かけて再生加工しております。



『高性能蛍光X線分析装置』による再生薬剤の分析

出来上がった再生薬剤はX線分析装置により、異物が除去されていることを元素レベルで確認しております。



低炭素社会実現への取り組み

地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」、そして我が国の2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現という目標に向け、温室効果ガスの排出量削減のためにハツタにできることから、取り組みを行っております。

Fun to Share

環境省の「Fun to Share」に参加し、低炭素社会の実現に貢献できるよう努めております。



Fun to Share
みんなでシェアして、低炭素社会へ。

「Fun to Share」

それは、地球温暖化対策の最新の知恵を
みんなで楽しくシェアしながら、低炭素社会をつくっていきましょう！
という合い言葉です。

省エネルギー

「オフィスの照明をLEDに変更する」或いは「始業前や昼休憩時に消灯する」などの活動により、電力の削減に努めております。

COOL BIZ期間中はノーネクタイ、ノー上着やポロシャツの着用を励行しております。また、室温が28℃を超える場合に冷房を使用するよう努めております。

ペーパーレス

文書類を電子化する事により、紙の削減に努めております。

再生エネルギーの活用

本社リサイクル工場の屋上に太陽光発電設備を設置し、再生エネルギーの活用に努めております。



オゾン層保護の取り組み

ハロン代替消火剤の活用

ハロンはもっとも効率的な消火剤として広く利用されていましたが、地球保護の役割を果たすオゾン層を破壊するためモントリオール議定書に基づき製造中止となりました。

ハロンの代替消火剤として当社が取り扱う『IG-541』は、大気中に存在する窒素52%・アルゴン40%・二酸化炭素8%を混合していますので、オゾン層を破壊することのない、地球環境保全に寄与する消火剤です。

ハロン1301消火剤回収システム(消防環境ネットワーク)

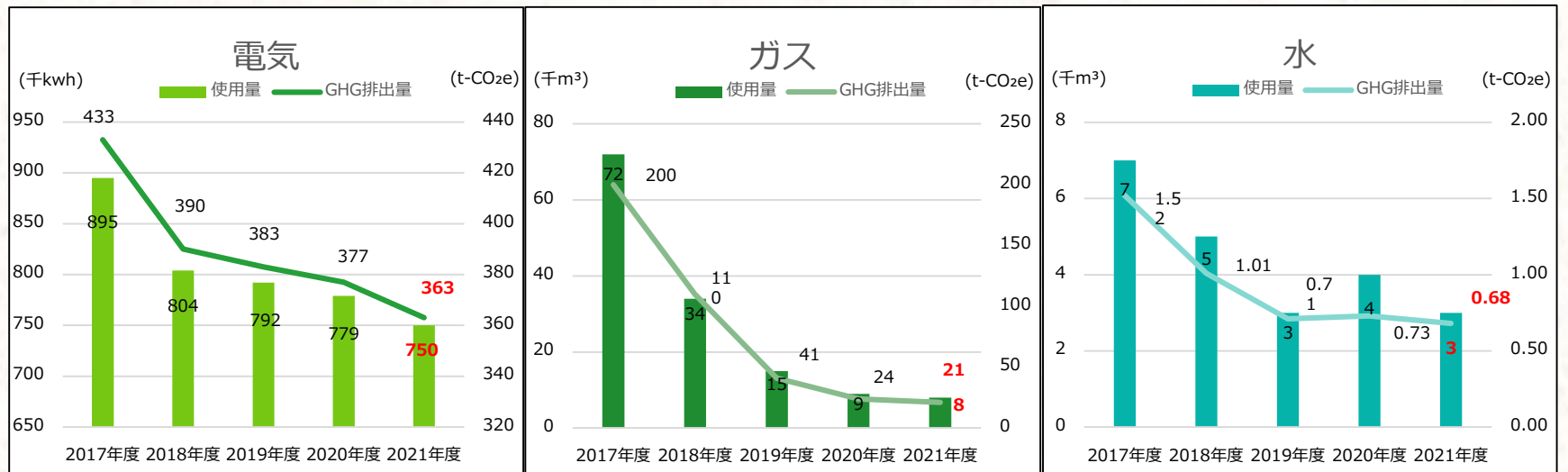
1994年以降、ハロンの生産等が全廃されたことを踏まえ、消防環境ネットワークでは、「ハロンの適正な管理・回収・再利用」や「リサイクルハロンの活用による必要量の供給」、「ハロンのみだりな放出の防止」などの普及啓発活動に取り組まれています。当社も、地球環境保全に寄与するため積極的に取り組んでおります。

エネルギー使用量や廃棄物排出量等の監視

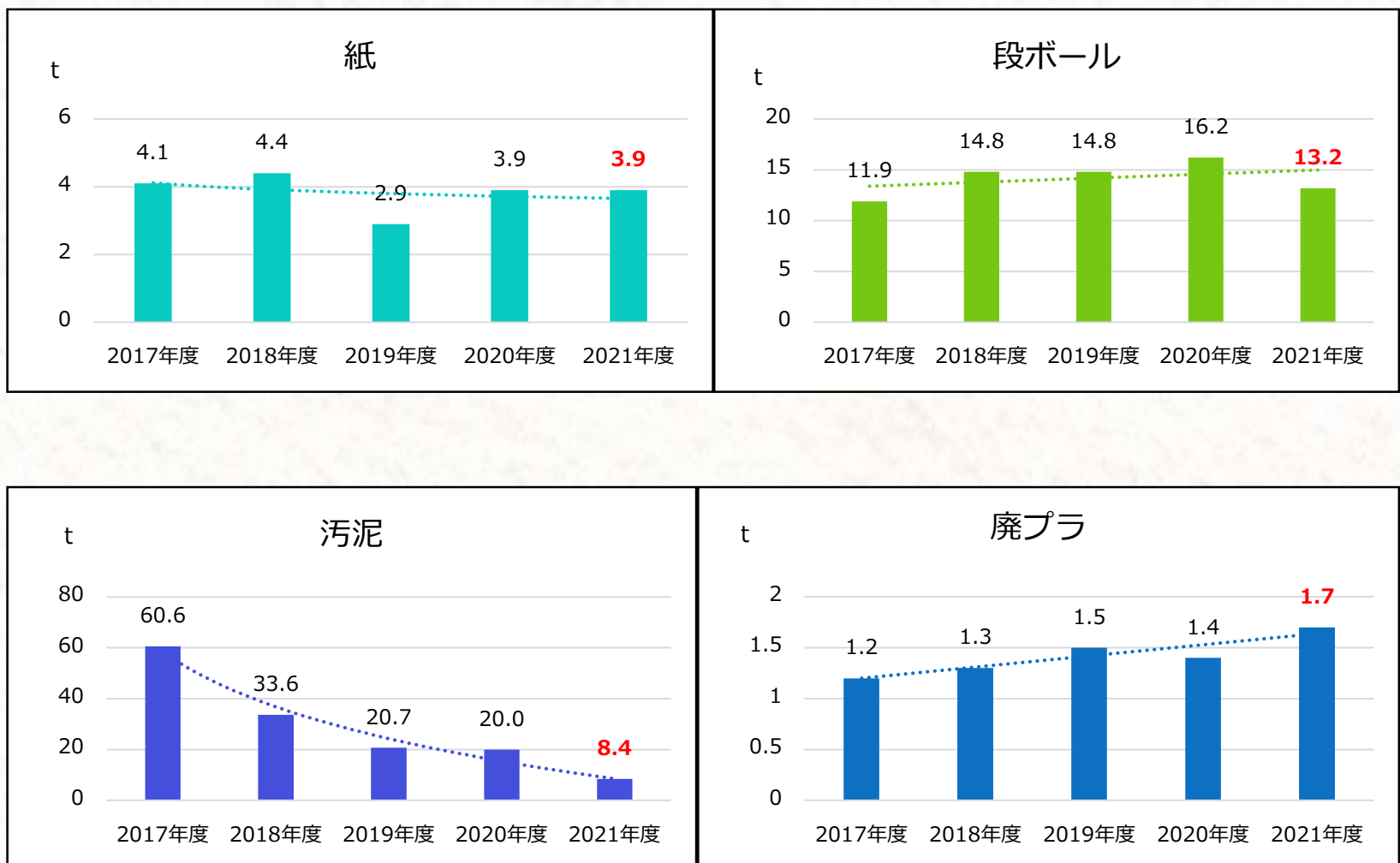
弊社において、エネルギーの主要消費場所および廃棄物の主要排出場所である枚方工場では、毎年、エネルギー（電気・ガス・水）使用量とGHG排出量*や廃棄物排出量（紙、段ボール、汚泥、廃プラ）の監視を行っております。

*：GHG排出量 = 温室効果ガス（Green House Gas）排出量

エネルギー使用量とGHG排出量



廃棄物排出量



HATSUTA「ECO&CSR報告書2022」アンケート

HATSUTA「ECO&CSR報告書2022」をご覧いただきありがとうございます。
 皆様からのご意見をもとに、今後発行する「ECO&CSR報告書」の内容を充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご感想をお寄せください。お答えいただきましたアンケートは、下記の宛先へメールまたはFAXをお願いいたします。

Q1. この報告書の読みやすさはいかがでしたか？

- わかりやすい 普通 わかりにくい

具体的にご意見がございましたらご記入をお願いいたします。

Q2.この報告書の内容で、特に印象に残ったことはどの項目ですか？（複数回答可）

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> トップメッセージ | <input type="checkbox"/> 会社概要 | <input type="checkbox"/> 企業理念・企業スローガン・環境品質理念 |
| <input type="checkbox"/> ハツタの取り組み | <input type="checkbox"/> 組織体制 | <input type="checkbox"/> 事業内容 |
| <input type="checkbox"/> 製品情報 | <input type="checkbox"/> サービス | <input type="checkbox"/> 関連会社と販売代理店 |
| <input type="checkbox"/> 火災リスク回避への取り組み | <input type="checkbox"/> 住宅用消火器の普及への取り組み | <input type="checkbox"/> 職場環境の改善 |
| <input type="checkbox"/> 人材の育成 | <input type="checkbox"/> 地域・社会への貢献活動 | <input type="checkbox"/> エコサイクルシステムによる資源の有効利用 |
| <input type="checkbox"/> 低炭素社会実現への取り組み | <input type="checkbox"/> エネルギー使用量と廃棄物排出量等の監視 | |

具体的にどのようなことが印象に残りましたか。

Q3.この報告書を読まれて、ハツタの取り組みについてどのようにお感じになりましたか？

- かなり評価できる 評価できる あまり評価できない 評価できない

具体的にどのようにお感じになりましたか。

Q4.今後のハツタの取り組みや、報告書に期待されるのはどの項目ですか？（複数回答可）

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> トップメッセージ | <input type="checkbox"/> 会社概要 | <input type="checkbox"/> 企業理念・企業スローガン・環境品質理念 |
| <input type="checkbox"/> ハツタの取り組み | <input type="checkbox"/> 組織体制 | <input type="checkbox"/> 事業内容 |
| <input type="checkbox"/> 製品情報 | <input type="checkbox"/> サービス | <input type="checkbox"/> 関連会社と販売代理店 |
| <input type="checkbox"/> 火災リスク回避への取り組み | <input type="checkbox"/> 住宅用消火器の普及への取り組み | <input type="checkbox"/> 職場環境の改善 |
| <input type="checkbox"/> 人材の育成 | <input type="checkbox"/> 地域・社会への貢献活動 | <input type="checkbox"/> エコサイクルシステムによる資源の有効利用 |
| <input type="checkbox"/> 低炭素社会実現への取り組み | <input type="checkbox"/> エネルギー使用量と廃棄物排出量等の監視 | |

具体的にどのようなご期待かお聞かせください。

Q5.この報告書をどのような立場でお読みになりましたか？


- | | | |
|----------------------------------|---|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お客様 | <input type="checkbox"/> お取引先 | <input type="checkbox"/> 企業の環境担当 |
| <input type="checkbox"/> 政府・行政関係 | <input type="checkbox"/> 研究・教育関係 | <input type="checkbox"/> 報道関係 |
| <input type="checkbox"/> 事業所近隣住民 | <input type="checkbox"/> 認証・審査機関 | <input type="checkbox"/> 環境団体 |
| <input type="checkbox"/> 学生 | <input type="checkbox"/> その他 () | |


Q6.その他、ご質問、ご意見、ご要望などをお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下記にもご記入をお願いいたします。

※個人情報の取り扱いについて：収集させていただきます個人情報につきましては、アンケートの調査・分析、報告書の充実の目的以外には使用いたしません。同意いただいた上で、個人情報の記入・送付をお願いいたします。

ふりがな		性別	男	女	年齢	歳
お名前						
ご住所				ご連絡先		
ご職業・勤務先				部署・役職		

 株式会社 初田製作所

 www.hatsuta.co.jp

お客様相談窓口 **0120-82-2041**
電話受付時間 10:00~12:00,13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

回収・リサイクル
相談窓口 **0120-82-2306**
電話受付時間 10:00~12:00,13:00~17:00(土・日・祝日を除く)
<https://fecycle.jp>